

## Ⅲ－２ 社会資本ストックの有効活用

有効活用

1

～既存ストックの機能改善等

これまで蓄積されてきた社会資本の潜在機能を最大限活用していくため、既存ストックの機能改善や運用改善を進めていきます。また、既存ストックの多目的利用を行います。

### 【主な取り組み】

- 既存ストックの機能改善
  - ・ 既存道路の再生改良による局部的な線形改良や待避所設置
  - ・ 既存の交差点の部分拡幅による改良や、現道内の幅員構成見直しによる滞留部の確保による渋滞対策
  - ・ 県営住宅に近接する保育施設等と連携した子育て支援への取り組み
- 既存ストックの運用改善
  - ・ 有料道路における利用しやすい料金体系の導入などによる地域交通の安定的な維持
- 既存ストックの多目的利用
  - ・ 道路を通じた地域振興の推進（日本風景街道等）
  - ・ 既存堤防を活用した河岸・港湾緑地整備による快適な水辺空間の提供
  - ・ 既存の階段護岸を利用した水上タクシーの展開や、河岸緑地へのオープンカフェの出店などの「水の都ひろしま」構想の推進
  - ・ 堤防管理道等を活用した自転車や歩行者にやさしい移動空間の提供
  - ・ 庭園砂防等による観光地における安全確保と環境・景観の形成

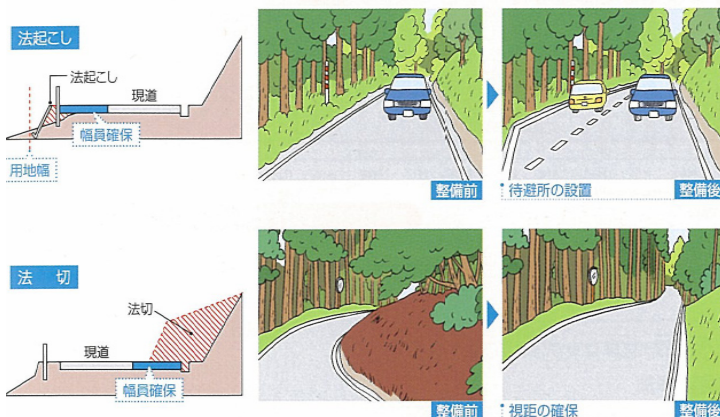
既存道路の再生改良による局部的な線形改良や待避所設置

既存の交差点の部分拡幅による改良

#### ●道路再生改良事業 ～今ある道路を活かした道づくり～

新設と維持修繕の中間的な位置づけである「再生改良」という考え方を導入し、当面の交通課題が解消できる程度の局部的な改良等により、早期に事業効果が期待されます。

#### ① 法起こし・法切による幅員確保のイメージ



#### ② 右折レーンの新設(延伸)の設置イメージ



宮島（世界文化遺産区域）の景観に配慮した事業



堤防を活用した遊歩道（京橋川）



水辺のオープンカフェ（京橋川）



水上タクシー（京橋川）





有効活用

2

～ハードとソフト対策との一体的な取り組み

貴重な資金を投じて整備された社会資本を最大限活用するため、ソフト対策による様々な取り組みを進めます。

また、ハード整備のみでは十分な対応が困難な施設については、ソフト対策をハードと組み合わせることにより、課題の解消を図ります。

あわせて、規制の緩和や強化を通じて、新たなまちづくりへの誘導を進めます。

【主な取り組み】

- 既存ストックの潜在能力を最大限引き出すためのソフト対策
  - ・ 定期航空路線の拡充や、空港アクセスの改善
  - ・ アジア地域への直行便の拡充
  - ・ アジア以遠の地域への国際ハブ空港（ソウル・台北・上海・成田・羽田）とのアクセス路線の強化
  - ・ 有効なポートセールスに向けた 24 時間対応、施設民営・共同化などによる港湾サービスの充実
- ソフト対策によるハード整備の補完
  - ・ ハザードマップを活用した市町の警戒避難体制確立の支援の促進
  - ・ 土砂災害警戒区域等の指定による市町の警戒避難体制支援の促進や新規宅地開発の抑制
  - ・ 短時間局所集中豪雨などに対応した防災情報の住民への伝達や活用支援の促進
- 規制緩和等による新たなまちづくりの推進
  - ・ パーク&ライドの取組推進やノーマイカー運動による渋滞緩和（交通需要マネジメント）
  - ・ 自転車など環境にやさしい乗り物への誘導
  - ・ 容積率の緩和など、都市計画制度の活用による合理的な土地利用の推進

短時間局所集中豪雨に対応した防災情報〔イメージ〕

リアルタイムの細密な降雨情報の提供



高精度雨量情報を市町が効果的に活用して、強い豪雨により危険が高まっている地域を速やかに把握し、避難勧告等を発令することが可能

